

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆9月の実質消費支出1.8%増 5カ月連続プラス、車購入費押し上げ

・総務省が発表した9月の家計調査によると、2人以上世帯の消費支出は30万3214円だった。物価変動の影響を除いた実質で前年同月比1.8%増加した。5カ月連続でプラスとなった。自動車の購入費などが押し上げた。自動車等関係費が19.8%上がった。総務省の担当者は「中古車や軽自動車への支出が増加した可能性がある」と指摘する。

◆9月の消費支出、駆け込みふるさと納税が押し上げ ポイント終了前に

・ふるさと納税の駆け込み需要が9月の消費支出を押し上げた。総務省の家計調査によると、2人以上世帯の実質の消費支出が前年同月比で1.8%増えた。10月からふるさと納税の仲介サイトでポイント付与が禁止となるのを前に、寄付金の項目は149.1%の急増となった。全体で1.8%の増加幅のうち、0.58ポイント分が寄付金だった。

◆企業価値担保巡り厚労省、破綻した場合でも雇用維持を 指針改定へ

・厚生労働省は2026年5月に始まる企業価値担保権を巡って労働者保護の指針の見直し案をまとめた。技術力や成長性を担保にする新たな仕組みで融資を受けた企業が破綻した場合、従業員の希望に応じて雇用の維持を原則とする。裁判所が選任した管財人が事業を引き継ぐスポンサーを探す際に従業員との協議を求める。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆「置き配」を標準サービスに、国交省がルール改定へ 再配達削減狙う

・国土交通省は玄関前に荷物を届ける「置き配」や宅配ボックスへの配送を宅配便の標準サービスに位置づけることを決めた。物流業界の人手不足は深刻で、再配達を減らし、業務負担の軽減を狙う。盗難といったトラブルの際の対応策をまとめた指針づくりに入る。国交省が有識者や事業者による検討会の提言を盛り込んだ報告書を公表した。

◆YKKAP、マンション改装拠点を全都道府県に 新築住宅減少で人員増強

・住宅設備大手のYKKAPの魚津彰社長は、ビルやマンションの改装を担当する拠点を全都道府県に設ける方針を明らかにした。専門の営業部隊も増強し、窓やドアなどの交換需要を取り込む。主力の戸建て住宅向けは人口減を受けて新築を中心に先行きが厳しい。高い収益性が見込めるリフォーム分野に軸足を移す。

◆ヒト型ロボット1日10万円から貸し出し GMO、AI搭載で接客にも対応

・GMOインターネットグループ子会社のGMO AI&ロボティクス商事(GMO AIR、東京・渋谷)は、生成AI(人工知能)を搭載したヒト型の二足歩行ロボットを貸し出すサービスを始めた。現時点では企業の実験での活用や「客寄せパンダ」の引き合いが強い。将来的には店舗やイベントでの接客などにも生かしていく。

《 注目商品 》

■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタANDARDシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタANDARDシリーズ計15品番を発売。



■永大産業、PB基材の床暖房対応シートフローリング

・ENボード社製の高品質のパーティクルボード基材を使用した床暖房対応シートフローリング。建築廃材や間伐材などの木質材料を主原料とするマテリアルリサイクル型製品として、資源の有効活用とCO2削減を両立させた環境配慮型のフローリング。



■有害物質ゼロ、防湿層付きグラスウール断熱材

・クナウフ・インシュレーションは「防湿層付きグラスウール断熱材」を関東エリアから順次発売。ホルムアルデヒドやフェノールをいっさい使用しない植物由来のバインダー「ECOSE®(エコース)」を採用したグラスウールを防湿層付きポリエチレンフィルムで包んだ。

